

啄木の妹光子宛書簡を中心に

兄さんはあんまりえらい為に、金持にもなれぬし、親孝行も充分出来ない。

石川啄木の妹・光子のご令孫三浦哲朗氏より、2020年にご寄贈いただいた資料を初公開します。文学に挫折しかけた啄木が光子にストレートに思いを吐露する直筆書簡や、亡くなる3週間前、病床のなか友人・丸谷喜市が代筆した「啄木のラストレター」など貴重な資料をご覧ください。

2021年
2月2日(火)～5月9日(日)

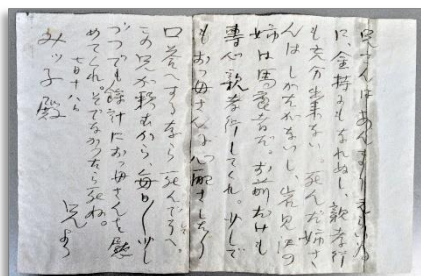


三浦光子、家族とともに

(昭和7年頃。左から夫三浦清一、長女幸子、長男陽郎、光子)

三浦光子：石川啄木の2歳年下の妹。渋民村(現盛岡市)出身。名古屋(入学当時)の聖使女学院に学び、基督教の婦人伝道師として全国各地を廻り、牧師の三浦清一と結婚。夫の死後は、神戸愛隣館の館長として恵まれない子供たちのため社会福祉事業に尽力した。

石川啄木書簡石川光子宛(明治41年7月18日)
「兄さんはあんまりえらい為に、金持にもなれぬし、親孝行も充分出来ない。…」



※ご来館の際は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため「マスクの着用」「手指の消毒」「検温」等にご協力をお願いいたします。また感染症拡大状況により、本展が中止または変更となる場合があります。

開館時間 9時～17時(入館は16時30分まで)

入館料 一般300円 高校生200円 小中学生100円

*盛岡市内に住所を有する65歳以上、小中学生は確認できるものを提示すると無料。

休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)

石川啄木記念館 岩手県盛岡市渋民字渋民9

TEL: 019-683-2315 FAX: 019-683-3119

URL▶ <http://www.mfca.jp/takuboku/>

